

リウマチ・腎臓内科に、通院・入院したことがある患者さんのご家族の方 （臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報や研究用に保管した検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 補体欠損症患者の病態解明についての研究

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 渥美 達也

【研究責任者名・所属】 北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科 助教 久田 諒

【研究の目的】 補体欠損症の病態を明らかにし、治療に役立てるため

【研究の方法】

○対象となる方

補体欠損症の患者さんまたは補体欠損症疑いの方で、2021年1月1日から研究実施許可日までの間に、研究用検体（血液）の保管に同意された方

○利用する検体・情報 *2031年12月31日までの診療情報を使用します

検体：血漿・血清：各5mL（15歳以下の場合は、体重により3mLまたは5mL）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、診断名、現病歴、既往歴、家族歴、検査結果（血液検査、X線・CT・MRI画像検査）

【研究実施期間】

実施許可日（検体・情報の利用開始：2023年12月頃）～2032年12月31日

（登録締切日：2030年12月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんや参加者の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの検体や情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

【連絡先・相談窓口】

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院リウマチ・腎臓内科 担当医師 久田 諒

電話 011-706-5915